

令和5年度 第二次交野市環境基本計画協働事業 事業評価

交野市と交野みどりネットは、以下の事業を協働で行い、成果を上げました。

[実施事業一覧]

事業名	事業内容	実施回数	実施日	みどりネット等参加人数(人)	一般参加人数(人)	
脱炭素社会事業	身近なグリーンインフラ	「みどりのカーテン大作戦」講座	1	5/13	8	30
		「みどりのカーテン大作戦」苗配布	3	5/13,15,16	8	112
		「みどりのカーテン大作戦」写真展(4日間)	1	9/14~17	15	—
	ゼロカーボンアクション30の推進	省エネ講座「Let's省エネチャレンジ」	1	3/28	7	12
	スマートムーブの推進	自転車散歩&みかん狩り	1	11/11	7	6
		エコドライブセミナー	1	11/23	6	10
	小計	8		51	170	
資源循環事業	ベンガラ染め体験	「水道水から学ぶ！ベンガラ染め体験」	1	8/12	6	20
	ごみを出さないライフスタイルの普及	「ブラゴミはどこへ行く？リサイクルプラザかざぐるま見学」	1	2/13	9	20
	小計	2		15	40	
自然共生事業	里山保全活動	「夏休み環境教室」2023	1	2023/7/26	10	15
		里山保全実践活動(月3回程度)	21	4~6,9~3月	220	103
	生物多様性の保全	生きもの調査(交野しぜんしらべたい)	13	4~7,9~12,3月	143	61
		生きもの調査展示(交野しぜんしらべたい)	1	2/15~2/17	26	—
		「ワクワク散歩～レンゲ畑で遊ぼう」	1	2023/4/23	8	20
		「ワクワク水遊び～天野川を知ろう！」	1	2023/8/20	10	10
		「ワクワク自然工作～リースを作ろう！」	1	2023/11/19	8	20
		「ワクワク散歩道～食べられる草を見つけよう」	1	2024/3/17	7	17
	観光資源との関わり	交野大好きウォークラリー2023	1	2023/11/26	52	241
	小計	41		484	487	
合計	51		550	697		

166 (来場者数)

357 (来場者数)

[各事業ごとの評価]

脱炭素社会事業

●「みどりのカーテン大作戦」講座・苗配布 写真展

- ・講座については地球温暖化に関心を持っている方も多かった。
- ・ゴーヤの発芽が例年より遅く心配されたが、直前の気温上昇で成長し、不足なく配布できた。
- ・開催場所は自治会館より、会館や公民館の方が場所が分かりやすい。
- ・肥料を入れ方について、勘違いされている方もいたので、改善する必要がある。
- ・市役所(午後)配布の申し込み・問い合わせが多かったため、来年度は株数を増やして当日受付で検討
- ・苗配布の数のわりに応募写真が少ないので、講座生だけでなく一般からの募集を検討

●省エネ講座「Let's省エネチャレンジ」

- ・生活に密接に関係した内容であったため、参加者は熱心に質問をしていたが、申込が少なかった。
- ・講座に興味があわくような内容のPR方法を探り、参加申し込みの増加を図る必要がある。

●「自転車散歩&みかん狩り」

- ・天気にも恵まれ、参加者も楽しく参加された。
- ・自転車の走行ルールとあわせて、脱炭素に自転車有効であることの周知もできた。

●エコドライブセミナー「エコカー、どんな？どうなん？」

- ・電気自動車の現状を知り、参加者は興味深く聞いていた。
- ・電気自動車の実物を前にすると、質問や話が尽きなかった。
- ・実際に電気自動車を見る機会を設けたが、参加申し込みが少なかったのが残念だった。

資源循環事業

●「水道水から学ぶ！ベンガラ染め体験」

- ・交野市の水道のしくみと資源循環について周知できた。

●「ブラゴミはどこへ行く？リサイクルプラザかざぐるま見学」

- ・市民の関心は高く、すぐに定員に達した。

●「夏休み環境教室2023」

- ・事前の準備が丁寧だったので、スムーズに進行できた。
- ・里山の話の中で、里山の重要性、竹をきる理由を説明できた。

●里山保全実践活動

- ・安定した活動人数で参加している。
- ・男女問わず、毎月の里山ボランティア募集に一定数申し込みがある。
- ・里山ボランティアでのリピーター参加や、創価高校生の参加等大人数での活動の日も多くある。

- ・竹の伐採・倒木の除去・草刈り・道づくり手入れ等活動が多岐になってきた。
- ・実践だけでなく、竹工作や講座で里山の話をする事で、里山整備の重要性・必要性を周知できている。

#### ●生きもの調査・調査展示

- ・通常調査は新規参加者からリピーターになり、会員になるケースもあり、参加者は安定した人数で活動できている。
- ・「虫好き集まれ」と通常調査ではできていない虫に特化した調査を市民参加を募って3回実施したが、どれも人気で申込が多かった。
- ・親子などでの参加も多いが、虫取りに夢中になり安全面での配慮が必要
- ・調査を始めてから、初めて調査報告展示会を開催。種類ごとに写真で展示し、来場者にはとても好評だった。あわせてしらべたいの活動についても周知できた。

#### ●生物多様性の「ワクワク」シリーズ

- ・レンゲ畑で遊ぼう…前半で十分にレンゲ畑で遊んだので、後半の草花探しも楽しんで取り組んでいた。
- ・天野川を知ろう…今年度からライフジャケット着用。体調不良での不参加が多くなったので、来年度以降は、大人を含まず小学生のみの申込対象にする（保護者は同伴）
- ・リースを作ろう…申し込みが多く人気の講座ではあるが、作ることだけが目的になってしまいがち。  
自然環境保護や生物多様性の保全につなげるため、リース作りに必要な自然材料の蔓や木の実等、自然の状態を写真等でもう少し詳しく説明した方がよい。
- ・食べられる草を見つけよう…コースには田んぼや畑も残っており、野草を観察するにはいいコースだと思う。  
「食べられる草」とテーマを絞っていることもあるのか、毎年申込の多い講座となっている。

#### ●「交野大好きウォークラリー2023」

- ・今年度から創価高校生も参加。学生が参加することで、若い人たちのアイデアが楽しく、参加者も喜んでいて。
- ・時間がかかるポイントが数か所あったが、時間のかかるポイントは内容の検討が必要（丸太切り・工作等）
- ・参加者の感想から、自然に対する環境保全や、気候変動等知ることができたとあり、環境について考えるきっかけづくりを提供できた。
- ・今年は管理道を通るコースを追加したので、道幅も広くポイントも余裕をもって設置できた。

#### 【総評】

第二次環境基本計画の2年目となる取組であったが、引き続き市民・事業者・行政の三者協働で各種活動を実施した。実施したイベントは、昨年度に比べ回数、参加者共に増加し、様々な分野で環境に関する啓発を推進することが出来た。課題としている広報発信力については、ホームページやSNSによる情報提供を行い周知に努めたが、今後、更なる活用が課題となる。もう1つの課題である担い手不足については、講座等に参加した市民が自分たちが率先して行動するという意識へ移行し、担い手へと発展していくプロセスの工夫が必要である。

今後においても、基本計画に掲げるビジョンの実現に向けて、パートナーシップによる推進体制を継続していくことが重要となる。